

NHO フェローシップ プログラム申請書

1. 研修プログラム名：救命救急・集中治療研修プログラム

病院名： 国立病院機構熊本医療センター

2. 診療科：(専門領域) 救命救急・集中治療部

3. コースの概要

留学期間中、主に救命救急センター（病棟、外来）、ICU において、重症救急疾患を中心とした救急初期診療・集中治療専門研修を行う。

4. 目標

<短期目標>

・救命救急センター外来では、様々な傷病者に対する迅速な診断と適切な初期治療を行い、各科専門と協力して安定化させる。また、救急ワークステーションや防災ヘリによる現場活動を通じて、救急隊や航空隊と協力した病院前救急医療を経験する。

<長期目標>

・救命救急センター病棟・ICU では、重症患者を指導医とともに受け持ち、集中治療を経験する

5. 取得手技

救急症候・重症病態の診断と治療に必要な知識を習得するとともに、必要な手技（気管挿管、FAST、胸腔ドレーン挿入、気管支ファイバースコープ、人工呼吸器管理、緊急血液浄化、経皮的心肺補助など）を学ぶ

6. 研修期間：3 か月間以上

7. 募集人数：同時期には 2 名

## 8. 診療科の実績

### 重症患者数

主要疾患	年間入院数	主要疾患	年間入院数
病院外心停止	205名	重症体温異常	8名
重症急性冠症候群	143名	特殊感染症	13名
重症大動脈疾患	21名	重症呼吸不全	105名
重症脳血管障害	104名	重症急性心不全	4名
重傷外傷	215名	重症出血性ショック	0名
指肢切断	0名	重症意識障害	16名
重症熱傷	9名	重篤な肝不全	1名
重症急性中毒	15名	重篤な急性腎不全	37名
重症消化管出血	62名	その他の重症病態	167名
敗血症	175名		

## 9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 4名 非常勤 3名

主として研修指導にあたる責任医師

櫻井聖大医長（経験年数 16年）

渋沢崇行医長（経験年数 16年）

深水浩之医員（経験年数 4年）

## 10. コンセプト

当研修は、一般医師のための救急対応能力向上を目的としているが、当施設が日本救急医学会および日本集中治療医学会専門医施設であるため、留学期間は専従期間として算定可能であり、救急・集中治療のキャリアアップとしても利用できる

## 11. その他（研修関連情報など）

当院では、ICLS、JMECC、PEEC を定期的で開催しているため、タイミングが合えば受講が可能である